



YAMAHA

G1D

DIVIDED PICKUP UNIT

取扱説明書

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

以下の注意事項は、いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

記号表示について

⚠ 記号は、危険、警告または注意を示します。

⊘ 記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

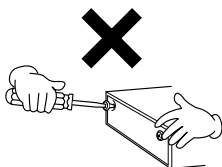
● 記号は、行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

* お読みになった後は、取扱説明書とあわせて、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 注意

この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。

⊘ この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。故障などの原因になりますので分解をしないでください。異常を感じた場合は必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



⊘ 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。感電や故障の原因になります。

! プラグを抜くときは、コードを持たずに、必ずプラグを持って引き抜く。コードやG1Dを破損させるおそれがあります。

! G1Dを使用する場合は、必ずギターの出力端子とG1Dのノーマルギター入力端子を接続する。アース不良による感電のおそれがあります。また、ノイズ発生の原因ともなります。接続には、G1Dに付属のノーマルギター用ケーブルをお使いください。

! G1Dをギターに取り付ける際、ギターとアンプ間およびG1DとG50間の接続ケーブルをはずしてから作業してください。感電の原因になります。



これは日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。

静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。適度な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドフォンをご使用になるのもひとつの方法です。

ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

はじめに

このたびは、ヤマハ・ディバイデッドピックアップユニットG1Dをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

G1Dは、ギター の弦振動 (6本の弦を個別に) をピックアップし、ヤマハ・ギターMIDIコンバーター (G50) に電気信号として送信できる、ディバイデッドピックアップユニットです。G1Dを取り付けることにより、スチール弦を用いた通常のエレクトリックギターやアコースティックギターをギターシンセサイザーシステムのコントローラーとしてご使用いただけます。

G1Dの優れた機能を十分にご活用いただくために、この取扱説明書をよくお読みいただきますよう、ご案内申し上げます。また、ご一読いただいた後も、不明な点が生じた場合に備えて、保証書とともに大切に保管いただきますようお願いいたします。

特長

- 一般的なエレクトリックギター、アコースティックギターに簡単に取り付けることができます。取り付けは、ネジで固定する他に、両面テープやファスナー、ブラケットなどが用意されているので、ギター の形状や用途 (他のギターへの付け替えなど) に合わせた取付方法を選ぶことができます。
- ギターシンセサイザー音とギター音の切り換えもワンタッチでできます。また、シンセサイザー音とノーマルギター音をそれぞれ単独あるいは同時に出力できるので、バリエーション豊かな演奏をお楽しみいただけます。
- 手元でシンセ音量の調整ができるのはもちろん、G50のメモリーの切り替えやプログラムチェンジの送信、オクターブやパラメーター値の+1/-1をすることができます。

目次

ご使用上の注意	2
仕様	2
各部の名称と機能	3
部品の確認	4
取り付けの前に	5
コントローラーの取り付け	6
ディバイデッドピックアップの取り付け	8
接続	11
コントローラーとスイッチ	12

ご使用上の注意

取り付けと調整

ディバイデッドピックアップは、ギターの6本の弦振動を個別にピックアップするものです。

G1Dの機能をフルに発揮させるために、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しく取り付け/調整をおこなってください。取り付けが正しくないで『音量バランスが揃わない』、『正確にピックアップできない』等の場合があります。

ディバイデッドピックアップの感度調整については、ギターMIDIコンバーターG50の取扱説明書も併せてお読みください。

ディバイデッドピックアップについて

- ディバイデッドピックアップの取り付けおよび取り外しの際、ピックアップ本体を曲げたりねじったりしないようにしてください。
- ピックアップ ギターMIDIコンバーター間のコードを引っ張らないでください。
- ピックアップに無理な力を加えたり、キズを付けたりしないでください。

接続ケーブルについて(11ページ参照)

- G1DとギターMIDIコンバーターとの接続には、13ピン専用ケーブル(G50に付属)をお使いください。故障の原因となりますので、他のケーブルは絶対に使用しないでください。

- 13ピン専用ケーブルはロックタイプです。接続を外す場合は、必ずロックを解除してからコネクタ部分を持って引き抜いてください。
- ケーブルを踏んだり引っ掛けたりしてG1Dや大切なギターを傷めることがないように、専用ケーブルはストラップにはさんでおきましょう。
- ギターの出力端子とG1Dのノーマルギター入力端子の接続には、G1Dに付属のノーマルギター用ケーブルをお使いください。このケーブルはアースも兼ねていますので、ノーマルギター音を使わない場合でも、必ず接続してください。

輸送時の注意

G1Dをギターに取り付けたまま移動する場合は、G1Dやギターがケースに押されて無理な力が加わらないように十分に注意してください。

接着について

ギターの塗装処理によっては、ピックアップ/コントローラーの取り付け用両面テープ/両面粘着シートにより塗装がはがれたり、化学変化により塗装が取れたりする場合があります。目立たない部分に試験的に短期間貼って様子を見るのもひとつの方法です。

取り外しの注意

G1Dを両面接着剤などでしっかりと取り付けられている場合は、ギターの塗装面をはがさないよう慎重に作業してください。

G1Dの取り付け加工によって生じる不具合についての保証は致しかねます。ご了承ください。

仕様

主な機能

シンセボリウムつまみ(VOL)
出力セレクトスイッチ(GUITAR/MIX/SYNTH)
アップ/ダウンスイッチ(UP/DOWN)
パワーインジケータ
ディバイデッドピックアップ(6弦独立)
ノーマルギター入力端子
G1D出力端子(ディバイデッドピックアップ+ノーマルギター)

付属品

ディバイデッドピックアップ
ノーマルギター用ケーブル(標準 ミニフォン)
本体固定用部品

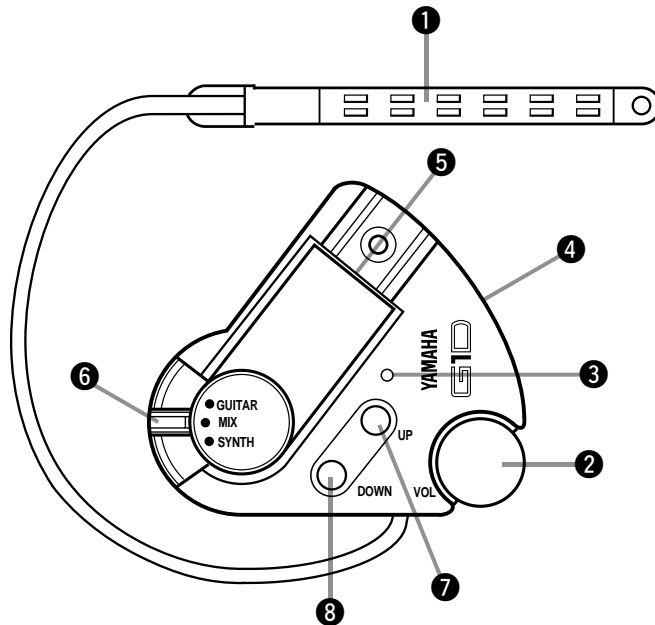
寸法

W 85.1(mm) x D 75.9(mm) x H 28.8(mm)

重量

70 g

各部の名称と機能



① デイバイデッドピックアップ

ギターの各弦の弦振動を独立して検出するマグネチックタイプのピックアップです。

ギター本体に取り付けて使用します。

8ページ『デイバイデッドピックアップの取り付け』

⑤ G1D出力端子

出力セレクトスイッチ⑥で選択したピックアップの信号を出力する端子です。G50の13ピン専用ケーブルで、ギターMIDIコンバーターの入力端子と接続します。

11ページ『接続』

② シンセボリューム (VOL)

シンセサイザー音の音量を調節します。

* ノーマルギター音の音量には影響しません。

⑥ 出力セレクトスイッチ

(GUITAR/MIX/SYNTH)

ギターMIDIコンバーターへ送る信号を選択するスイッチです。

GUITAR: ノーマルギター音(ギターのパックアップ出力)を出力します。

SYNTH: シンセサイザー音(デイバイデッドピックアップ出力)を出力します。

MIX: ノーマルギター音とシンセサイザー音の両方を出力します。

③ パワーインジケータ

G1Dに電源が供給されると点灯します。

電源はギターMIDIコンバーターから13ピン専用ケーブルで供給されます。

④ ノーマルギター音入力端子

エレキギター/エレアコギターのピックアップ出力(ノーマルギター)をG1Dに入力するための端子です。

接続にはG1Dに付属のノーマルギター用ケーブルを使用します。

⑦ UPスイッチ

⑧ DOWNスイッチ

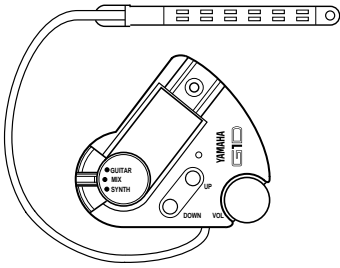
接続するギターMIDIコンバーター側の設定により、プログラムのメモリーナンバー、パラメーター値、プログラムチェンジナンバー、オクターブシフト値などを+1/-1することができます。

ご使用になるギターMIDIコンバーターの取扱説明書をご参照ください。

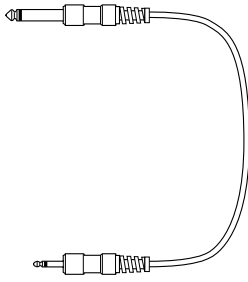
部品の確認

取り付けの前に、すべての部品が揃っていることを確認してください。

G1D本体(ディバイデッドピック
アップ+コントローラー)



ノーマルギター用ケーブル

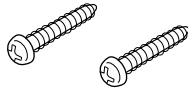


クリアランスゲージ

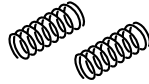


ピックアップ取り付け用部品

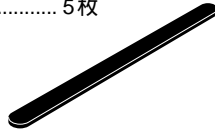
- ・バインドタッピングネジ
(3×25)..... 2本



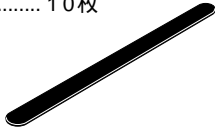
- ・バネ..... 2ケ



- ・スペーサーA(厚:1mm)
..... 5枚



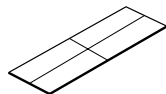
- ・スペーサーB(薄:0.3mm)
..... 10枚



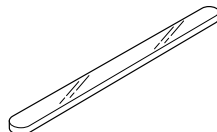
- ・クッション..... 1枚



- ・両面テープ..... 4枚

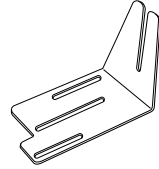


- ・両面粘着シート(透明)..... 2枚

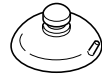


コントローラー取り付け用部品

- ・取付ブラケット..... 1ケ



- ・吸盤..... 3ケ



- ・バインドタッピングネジ
(3×16)..... 1本



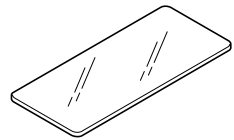
- ・クッション(両面にテープ付き)
..... 6ケ



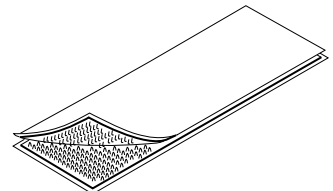
- ・両面テープ..... 3枚



- ・両面粘着シート(透明)..... 3枚



- ・ファスナー..... 1組



取り付けの前に

ギターへの取り付け

G1Dをギターボディに取り付ける前に、以下の注意をよくお読みになり、そして取付方法を選択してください。

ギターについて

G1Dはスチール弦の6弦エレキギターまたは6弦アコースティックギター用のディバイデッドピックアップです。お手持ちのギターが以下のようなタイプの場合には動作いたしません。

- ・ 12弦、9弦などの6弦以外のギター
- ・ ベースギター(6弦も不可)
- ・ ナイロン弦、ガット弦等のギター
- ・ 弦幅が極端に広く(または狭く)、各弦のピックアップ(マグネット)から弦が完全に外れるギター

ディバイデッドピックアップは、ブリッジから20mm以内のリアピックアップ寄りの位置に取り付けます。20mmのスペースがあるかをご確認ください。また、トレモロアームを動かしたときにディバイデッドピックアップに接触しないことをご確認ください。

ギター本体の調整(弦高やネックの反り)は、G1Dを取り付ける前におこなっておいてください。

トレモロユニット付きのギターは、トレモロアームを取り付けた状態でG1Dの取り付けをおこなってください。

取り付け前に、ノーマルギター用ケーブルと13ピン専用ケーブルはG1Dコントローラーから外しておいてください。

取付方法の選択

ディバイデッドピックアップの取り付けには、以下の3つの方法があります。

1. 両面テープによる取り付け
 - ・ 簡単にしっかりと付く
 - ・ 最初の高さ調整に慎重を要する
2. 両面粘着シートによる取り付け
 - ・ 取り付け方法は両面テープと同様であるが、繰り返し着脱が可能
3. ネジ+パネによる取り付け
 - ・ 高さ調整が簡単にできる
 - ・ 取り付けに精度が必要
 - ・ ギターに穴開け加工が必要

コントローラーの取り付けには、以下の6つの方法があります。

1. 両面テープによる取り付け
 - ・ 簡単にしっかりと付く
2. 両面粘着シートによる取り付け
 - ・ 取り付け方法は両面テープと同様であるが、繰り返し着脱が可能
3. ファスナーによる取り付け
 - ・ 着脱が簡単
4. 吸盤による取り付け
 - ・ 着脱や移動が簡単
 - ・ 表面が光沢のある仕上げで平らになっているギターに適している
5. 取付ブラケットによる取り付け
 - ・ 粘着テープとの併用で、アーチドトップのギターにも取り付け可能
 - ・ ストラップピンを利用することも可能、その場合はネジが効かなくならないように注意
6. ネジによる取り付け
 - ・ 粘着テープとの併用で、アーチドトップのギターにも取り付け可能
 - ・ ギターに穴開け加工が必要

ピックアップ、コントローラーの取り付け:

ネジによる取り付け以外は、演奏時の激しいショックや長期の使用によりギターから取れてしまう場合があります。アーチドトップギターの場合、接着面と粘着力を考えて取付方法を選んでください。

コントローラーの取り付け

1 コントローラーの取り付け位置を決めます。

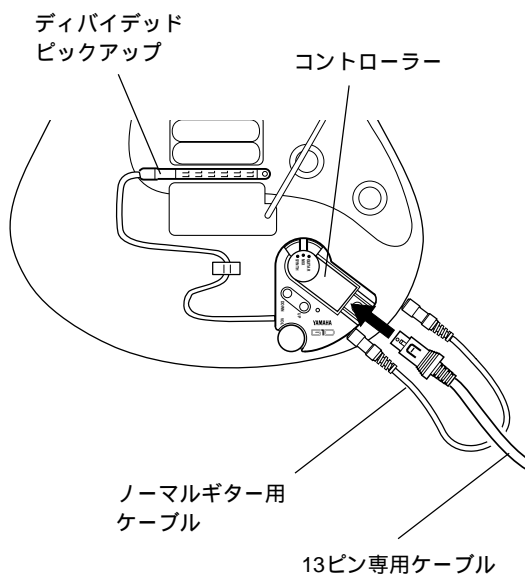
このとき以下のような点に注意してください。

- ・演奏がしやすい
- ・トレモロユニットを動かしたときに触れない
- ・ギターのパリウム、トーン、スイッチなどの操作がしやすい
- ・G1Dのコントローラーが操作しやすい
- ・ディバイデッドピックアップとコントローラーを結ぶコードに無理な力がかからない
- ・ギターおよびコントローラーの接続端子、接続コードなどに無理な力がかからない
- ・ギターをスタンド等に立てかけたときに、コントローラーや接続コードのプラグに無理な力がかからない
- ・ギターケースに入れた時にギター本体やG1Dに無理な力がかからない

2 コントローラーの取り付け方法を決めます。

『取り付け方法の選択』(5ページ)で決めた方法について、取り付け位置の材質、形状、使用状況などを再度確認し、最適な取り付け方法を決めます。

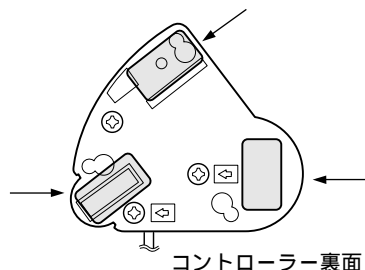
取り付け前にコントローラーからノーマルギター用ケーブルと13ピン専用ケーブルを外しておきます。



3 コントローラーの取り付け

両面テープによる取り付け

コントローラー裏面に3カ所、両面テープを貼ります。



貼り付け面が平らでない場合(アーチドトップなど)は、コントローラー用クッション(両面にテープ付き)を貼り、ボディ面となるべく多く密着するようにしてください。

* コントローラー、ギターともに、接着面のホコリや油分をふき取ってから貼ってください。

両面粘着シートによる取り付け

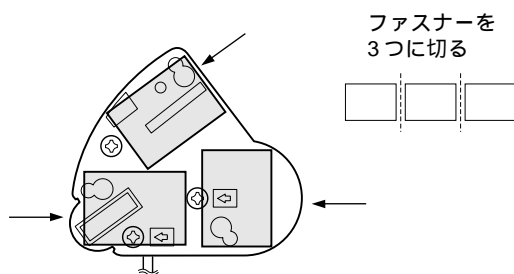
上の『両面テープによる取り付け』と同様の方法で取り付けます。

再粘着力があるので、数回程度繰り返して着脱することができます。ホコリ等が付着して粘着力が落ちた場合は、中性洗剤等で粘着シートの表面を洗えば粘着力が回復します。

* 着脱を繰り返す場合は、両面粘着シートの保護紙を捨てずに保存しておくことをお勧めします。

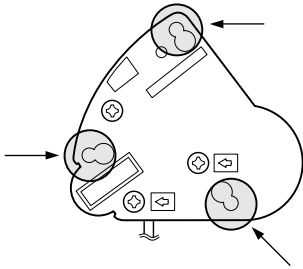
ファスナーによる取り付け

1. ファスナーのオスとメスを貼り合わせた状態で3つに切り、ファスナー片面をコントローラー裏面に貼ります。
2. ファスナーのもう片面の保護紙をはがし、ギターのボディにコントローラーごと貼ります。



吸盤による取り付け

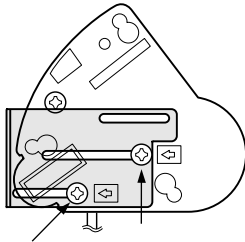
コントローラー底面の吸盤取り付け用穴3カ所にそれぞれ吸盤を取り付け、ギターボディにコントローラーを固定します。



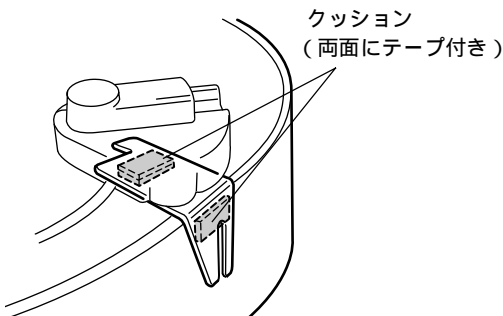
- * ギターの吸盤接触面は、ホコリや油分をふき取って吸着力を高めてください。
- * 吸盤の端を持ち上げて空気を入れると、簡単に取り外せます。

取付ブラケットによる取り付け

1. コントローラー底面の2本のネジ(底面に矢印表示あり)を使って、コントローラーに取付ブラケットを取り付けます。



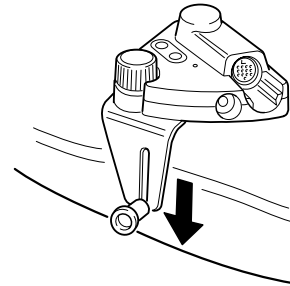
2. 取付ブラケットのギターと接触する部分にクッション(両面にテープ付き)をネジ頭がボディに接触しない高さまで貼り、ギターのボディにコントローラーを貼ります。



ギターのストラップピンでブラケットを固定することもできます。

ギターのストラップピン固定ネジをゆるめ、取付ブラケットを差し込み、ストラップピン固定ネジを締めて固定します。

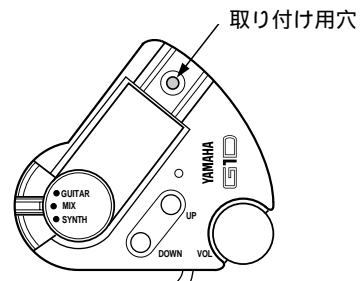
- * 取付ブラケットのギターと接触する部分にクッション(両面にテープ付き)をネジ頭がボディに接触しない高さまで貼ってお使いください。
- * ギターに取り付けたコントローラーに無理な力を加えたり、着脱を繰り返すとストラップピン固定ネジが効かなくなります。注意してください。



ネジによる取り付け

取付作業の前に、コントローラー、ディバイデッドピックアップの取付位置をもう一度確認してください。

1. コントローラーを取付位置に置き、取り付け用の下穴を開けます。コントローラーの取り付け用穴上面から 2mmのドリルで開けます。(またはキリ等で同程度の下穴を開けます)。
2. 『両面テープによる取り付け』(6ページ)と同様に、コントローラー底面に両面テープを貼ります。
3. 下穴とネジの位置を確認しながらコントローラーをギターのボディに貼った後、付属のバインドタッピングネジ(3×16)で固定します。ネジが曲がらないよう、ご注意ください。

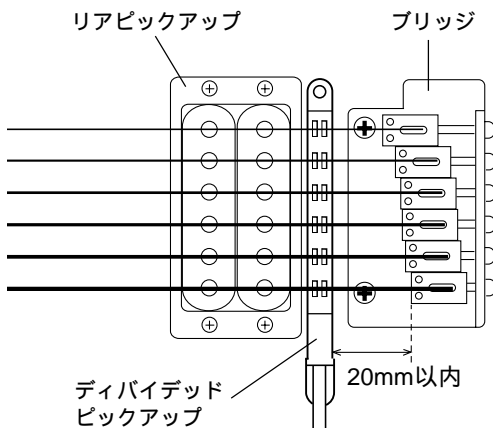


ディバイデッドピックアップの取り付け

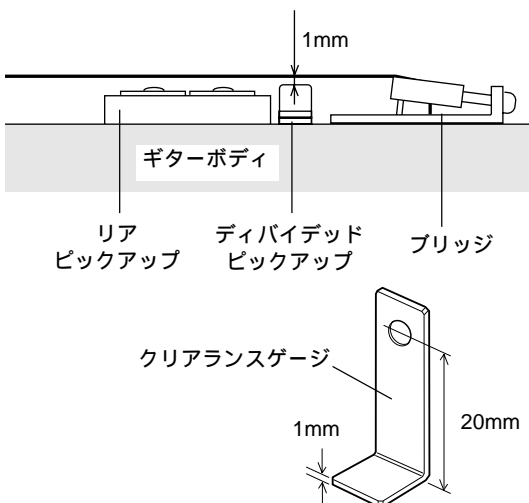
1 ディバイデッドピックアップの取り付け位置を決めます。

基本的にディバイデッドピックアップは、ブリッジとリアピックアップの間で、6弦側にコードが出る向きに取り付けます。

- * トレモロユニットを動かしたときにピックアップに接触しない位置を選んでください。
- * ブリッジからあまり離してしまうとチョーキング時に弦が各ピックアップから外れてしまい、正常に動作しません。20mm以内の範囲でなるべくブリッジから離れた位置に取り付けてください。

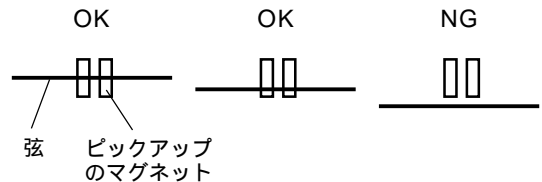


ピックアップと弦との間隔は、1弦と6弦の最高フレットを押さえたときに、弦とピックアップとのすき間が1mm位になるように付属のクリアランスゲージ(厚さ1mm)で確認しながら調整します。弦とピックアップが接触しないように調整します。(ピックアップ寄りのフレットを押さえて弦がピックアップに接触しなければ、1mm以下のほうが検出レベルが増します。)



各弦がそれぞれ各ピックアップ(マグネット)の上を通るように調整します。

- * 弦が各ピックアップのマグネットから完全に外れてしまうと検出できません。必ず弦が各マグネットの上を通る位置を選んでください。またチョーキングした際にマグネットから弦が外れないことを確認してください。



2 弦高やネックの反りを調整し、ギターをチューニングします。

3 ディバイデッドピックアップの取り付け方法を決めます。

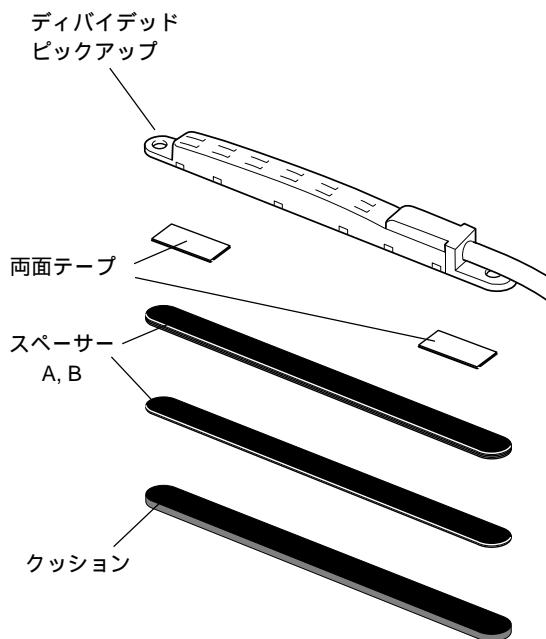
『取り付け方法の選択(5ページ)』で決めた方法について、取り付け位置の材質、形状、使用状況などを再度確認し、最適な取り付け方法を決めます。

4 ディバイデッドピックアップの取り付け

両面テープによる取り付け

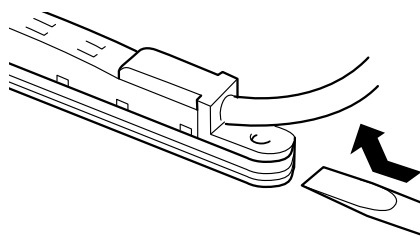
1. ピックアップの高さを調整します。
ピックアップの下にピックアップ用スペーサーA(厚:1mm) B(薄:0.3mm)を重ねて、高さを調整します。このとき、スペーサーの保護紙はまだ付けたままにしておきます。
貼り付け面が平らでない場合(アーチドトップなど)は、ピックアップ用クッションをスペーサーの下に入れ、ボディ面となるべく多く密着するようにしてください。
- * スペーサーの保護紙は1枚約0.1mmあります。接着時に保護紙をはがすことを計算に入れ、その分高く調整してください。
- * 1弦側と6弦側とで弦とピックアップとのすきまが大きく異なる場合やアーチドトップのギターの場合、スペーサーを1/3か1/4に切ったものを入れて高さを揃えてください。

ディバイデッドピックアップの取り付け



高さが適当でなかった場合は、以下の手順で修正します。

1. 追加または減らすスペーサーの数を決めます。
2. 弦をゆるめて外します。
3. ピックアップだけをギターからはがします。
ピックアップに無理な力を加えないように、6弦側から薄い板のようなものをピックアップとスペーサーの間に差し込み、少しずつはがしていきます。
* ピックアップを曲げたりひねったりすると中のコイルが断線するなど、故障の原因となります。注意して作業してください。



2. 弦をゆるめて外します。
3. 両面テープ、スペーサーおよびクッションに付いている両面テープの保護紙をはがし、ピックアップ底面に貼ります。最後にギターにピックアップを固定します。

* ピックアップ、ギターともに、接着面のホコリや油分をふき取ってから貼ってください。

4. 弦を張り正しくチューニングした状態で、付属のクリアランスゲージを使ってピックアップの高さを確認します。
5. 高さが適当であれば、ギターMIDIコンバーター側で各弦の入力レベルの調整を行ってください。(ギターMIDIコンバーターの取扱説明書参照)

4. ピックアップ裏面の両面テープをきれいに取り去ります。
5. 高さ調整をします。
スペーサーを追加する場合は、ギター側に貼り付いているスペーサーの上部に残っている両面テープをきれいに取り去ります。
スペーサーを減らす場合は、必要な分のスペーサーをはがした後、そこに薄く貼り付いている両面テープをきれいに取り去ります。
6. ピックアップの底面に、付属の両面テープを貼り、ギターのスペーサー上面に貼り付けます。
7. 弦を張り正しくチューニングした状態で、付属のクリアランスゲージを使って再度ピックアップの高さを確認します。(8ページ参照)
8. 高さが適当であれば、ギターMIDIコンバーター側で各弦の入力レベルの調整を行ってください。(ギターMIDIコンバーターの取扱説明書参照)

ディバイデッドピックアップの取り付け

両面粘着シートによる取り付け

『両面テープによる取り付け』(8ページ)と同様の方法で取り付けます。両面粘着シートは、ギターのボディに接着する部分に使います。

両面粘着シートは再粘着力があるので、数回程度の繰り返し着脱が可能です。ホコリ等が付着して粘着力が落ちた場合は、中性洗剤等で表面を洗えば粘着力が回復します。

- * 着脱を繰り返す場合は、両面粘着シートの保護紙を捨てずに保存しておくことをお勧めします。

ネジ+バネによる取り付け

ネジ+バネで取り付けの場合は、ボディ面から弦までの高さが13mm以上必要です。

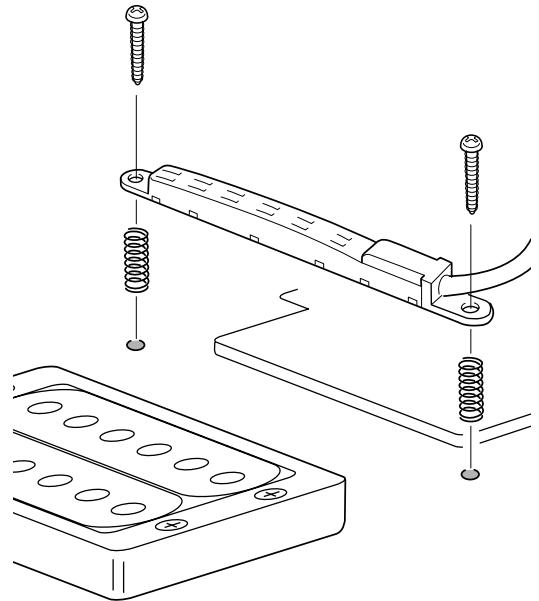
1. ピックアップを取付位置に置き、取り付け用のネジ穴位置をギターのボディに印します。
 - * 6弦側の取付穴の印を付ける際、コードを極端に折り曲げないでください。断線の原因となります。
2. 弦をゆるめて外します。
3. 取り付け用の下穴を開けます。印をしておいた位置に、2mmのドリルで垂直に穴を開けます。(またはキリ等で同程度の下穴を開けます)。
4. ピックアップの下にバネを入れ、付属のバインドタッピングネジ(3×25)でボディに取り付けます。
 - * ネジを締める際、6弦側のコードを傷つけないように注意してください。

- 5 弦を張り正しくチューニングした状態で、ピックアップの高さを調整します。

1弦と6弦の最高フレットを押さえたときに、弦とピックアップとのすき間が1mm位になるように付属のクリアランスゲージ(厚さ1mm)で確認しながら調整します。

- 6 高さが適当であれば、ギターMIDIコンバーター側で各弦の入力レベルの調整を行ってください。

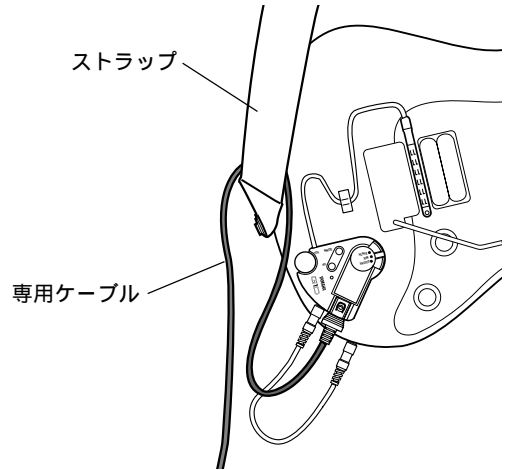
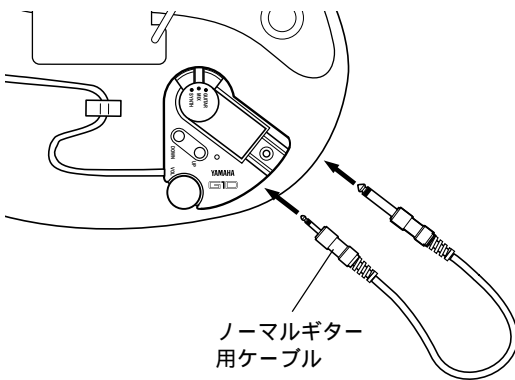
(ギターMIDIコンバーターの取扱説明書参照)



! すべての機器の電源を切った状態で接続します。アンプのボリュームは最小にしておきます。

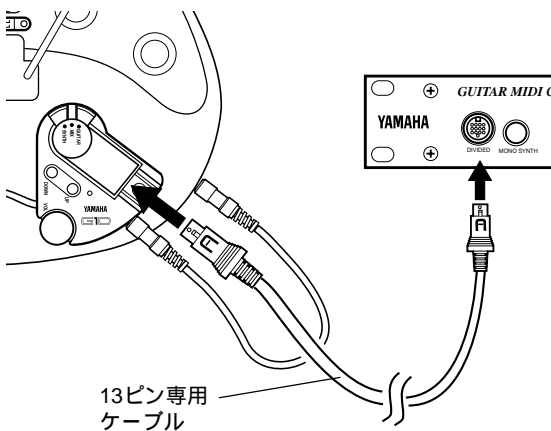
1. G1Dに付属のノーマルギター用ケーブルでギター出力端子とG1Dのノーマルギター入力端子を接続します。

* アース不良でノイズが発生することがありますので、ギターのノーマル音を使わない場合でも必ず接続してください。



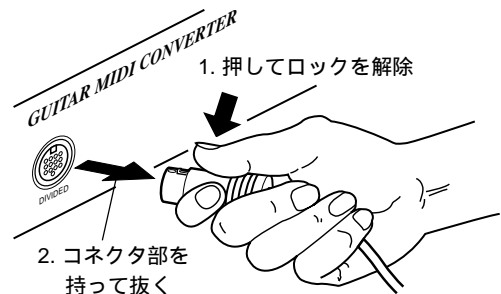
2. ギターMIDIコンバーターのDIVIDED入力端子とG1Dを13ピン専用ケーブルで接続します。

* 故障の原因となりますので、13ピン専用ケーブル以外は使用しないでください。



* ケーブルを踏んだり引っ掛けたりしてG1Dやギターを傷めないように、ケーブルはストラップにはさんでおきましょう。

* 13ピン専用ケーブルはロックタイプです。押し込むと自動的にロックされます。接続を外す場合は、必ずロックを解除しながらコネクタ部を持って抜いてください。



3. ギターMIDIコンバーターと音源ユニット、再生装置、ギターアンプなどを接続します。

4. ギターMIDIコンバーター側のピックアップの設定をします。

(ギターMIDIコンバーターの取扱説明書をお読みください)

5. 音源ユニット ギターMIDIコンバーター 再生装置 ギターアンプの順で電源を入れます。

G1Dのパワーインジケーターが点灯します。これで接続は完了です。

* インジケーターが点灯しない場合は、接続を確認してください。

コントローラーとスイッチ

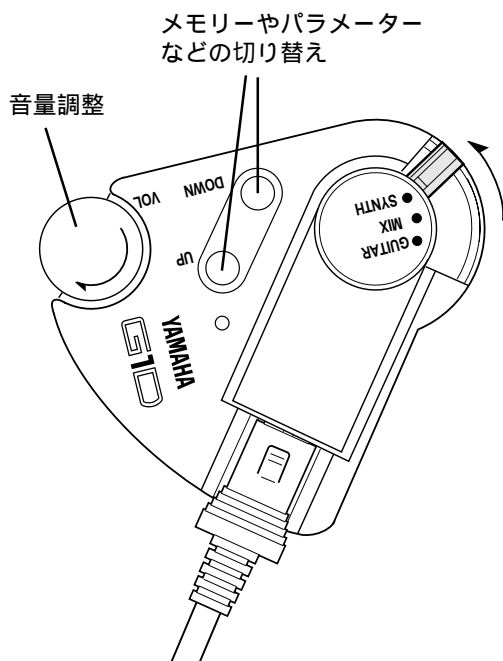
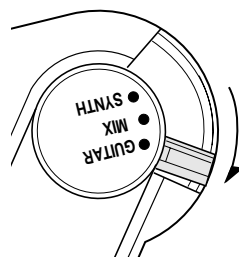
接続が完了したら、ギターを弾いて演奏してみましょう。

シンセ音のみで演奏する場合

- 出力セレクトスイッチを“SYNTH”にセットします。
- VOLツマミで、シンセサイザー音の音量を調整します。右へ回すほど音量が大きくなります。
- UPスイッチ、DOWNスイッチの機能は、ギターMIDIコンバーター側の設定により、いろいろな切り替えをすることができます。G50の場合はプログラムのメモリーナンバー、パラメーター値、プログラムナンバー、オクターブシフト値のいずれかを -1/+1 することができます。詳しくはご使用になるギターMIDIコンバーターの取扱説明書をご参照ください。

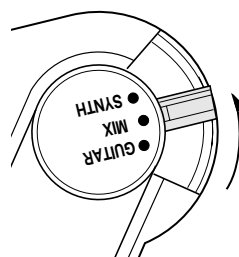
ノーマルギター音のみで演奏する場合

- 出力セレクトスイッチを“GUITAR”にセットします。
- VOLツマミを回しても、ノーマルギター音の音量は変わりません。



シンセ音 + ノーマルギター音で演奏する場合

- 出力セレクトスイッチを“MIX”にセットします。
- VOLツマミを回すと、シンセサイザー音の音量だけが変わります。ノーマルギター音の音量は変わりません。
- UPスイッチ、DOWNスイッチの機能は、上記“シンセ音のみで演奏する場合”と同様です。



デジタルインフォメーションセンターについて

ヤマハデジタルインフォメーションセンターでは、デジタル楽器の使用法やトラブルなどについて、電話による質問をお受けいたします。お問い合わせの際には、「製品名」、「製造番号」、「ご住所」、「お名前」、「電話番号」を必ずお知らせください。

ヤマハデジタルインフォメーションセンター

TEL 053-460-1666

受付日 月曜日～金曜日(祝日および弊社の休業日を除く)

受付時間 10:00～12:00/13:00～17:00

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

保証書

本機には保証書がついています。保証書は販売店がお渡ししますので、必ず販売店印・お買い上げ日などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日から1年間です。

保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

以下の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

消耗部品の例

ポリウムコントロール、スイッチ、ランプ、接続端子など

補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

持込み修理のお願い

異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。お持ち込みの際は、ご使用のギターとG1D、G50をセットでお持ちくださいますようお願いいたします。

製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

ヤマハ電気音響製品サービス拠点 (修理受付および修理品お持ち込み窓口)

北海道サービスセンター	〒064	札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内	TEL (011) 513-5036
仙台サービスセンター	〒983	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター 3F	TEL (022) 236-0249
首都圏サービスセンター	〒211	川崎市中原区木月1184	TEL (044) 434-3100
東京サービスステーション*	〒108	東京都港区高輪2-17-11	TEL (03) 5488-6625
(*お持ち込み修理のみお取り扱い)			
浜松サービスセンター	〒435	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL (053) 465-6711
名古屋サービスセンター	〒454	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F	TEL (052) 652-2230
大阪サービスセンター	〒565	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL (06) 877-5262
四国サービスステーション	〒760	高松市丸亀町8-7 ヤマハ(株)高松店内	TEL (0878) 22-3045
広島サービスセンター	〒731-01	広島市安佐南区西原6-14-14	TEL (082) 874-3787
九州サービスセンター	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL (092) 472-2134
[本社] カスタマーサービス部	〒435	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL (053) 465-1158

デジタル楽器に関するお問い合わせ窓口

北海道支店	第二営業課	〒064	札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内	TEL (011) 512-6113
仙台支店	第二営業課	〒980	仙台市青葉区大町2-2-10	TEL (022) 222-6147
東京支店	第二営業部	〒108	東京都港区高輪2-17-11	TEL (03) 5488-5471
関東支店	第二営業課	〒108	東京都港区高輪2-17-11	TEL (03) 5488-1688
名古屋支店	第二営業課	〒460	名古屋市中区錦1-18-28	TEL (052) 201-5199
大阪支店	第二営業部	〒542	大阪市中央区南船場3-12-9 心齋橋プラザビル東館	TEL (06) 252-5231
広島支店	第二営業課	〒730	広島市中区紙屋町1-1-18 ヤマハビル	TEL (082) 244-3749
九州支店	第二営業課	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL (092) 472-2130
電子楽器営業部 デジタルCBX営業課		〒430	浜松市中沢町10-1	TEL (053) 460-2432

所在地・電話番号などは変更されることがあります。

ヤマハ株式会社